



品質管理、環境管理、労働安全衛生管理の3つのマネジメントシステムを、統合マネジメントシステム (IMS) として、運用しています。PAMCO-2021における目標達成のツールとして、経営方針をIMS方針と位置づけ、このシステムを最大限に活用していきます。

ISO認証登録

当社は、ISO9001、ISO14001、およびOHSAS18001を認証登録し維持しています。統合審査として、2019年10月に3つのシステムの審査を同時に受審しました。軽微な指摘事項が1件ありましたが、是正処置依頼書の発行から30日以内に是正を完了しています。マネジメントシステムに重大な不備はなく、認証登録が維持されました。

■認証登録情報

認証規格	登録範囲	登録番号	有効期限	初回登録	
ISO9001:2015	八戸本社 (製造所) 東京本店	0314	2021年 2月15日	1998年 4月9日	 ISO9001登録証
ISO14001:2015		E1998		2009年 3月19日	
OHSAS18001:2007		H063		2012年 2月16日	

環境会計および安全会計

2019年度の環境会計および安全会計の集計結果を以下に示します。
環境会計については全体で約6億円の費用を投じています。公害防止コストと資源循環コストが多く、次に汚染負荷量賦課金^{※1}となっています。
安全会計については全体で約1億円の費用を投じています。主に、安全対策工事等の設備投資や安全衛生保護具に関する費用となっています。

※1：ばい煙発生装置を1987年4月1日の段階で設置しており、硫酸酸化物を排出し、排出ガス量が一定値以上ある事業所が納付するもの。当社は制度開始以降、義務を全うしています。

■環境会計の集計結果（環境保全コスト）

分類	主な内容	費用(万円)
(1) 事業エリア内コスト	公害防止コスト	23,964
	地球環境保全コスト	4
	資源循環コスト	24,281
(2) 管理活動コスト	ISO審査費	2,238
	構内緑化・管理費	
	環境・社会報告書作成費	
	各種モニタリング装置維持管理費	
(3) 社会活動コスト	近隣一般道路清掃費	20
(4) 環境損傷対応コスト	汚染負荷量賦課金	13,115
合計		63,622

■安全会計の集計結果

分類	金額(万円)
(1) 設備投資（安全対策工事等）	7,089
(2) 安全衛生・防災教育費	388
(3) 法定検査費（ボイラ・クレーン・消防関係）	735
(4) 健康診断等費	1,016
(5) 安全衛生保護具費	2,371
合計	11,599

法規制順守の取り組み

当社は、法規制等の順守を事業活動の最も重要な項目の1つに位置づけ、順守に関する手順を定めるとともに、定期的に現場や書類などの監視・点検を行っています。2019年度は法規制や基準の重大な違反はありませんでした。
また、2019年度はベルトコンベアのクリーナーカバー修正作業中に、手を挟む労働災害が協力会社で発生しました。再発防止対策として、カバーを取り外す際の作業方法を見直すとともに、設備の改善を実施し、手が挟まれない構造としました。
労働災害防止のために、マネジメントシステムの基本をなす「計画 (Plan) - 実施 (Do) - 評価 (Check) - 改善 (Act)」という一連の過程を確立し、職場での自主的な安全衛生管理をより一層推進するとともに、安全な職場環境を形成するよう呼びかけています。
従業員一人ひとりが、それぞれの役割を認識して自主的に活動することで安全意識を向上させ、当社・協力会社ともに一丸となって無災害を目指します。

サプライチェーンマネジメント

当社は、生産現場だけでなく、サプライチェーンの各段階において、環境との調和に配慮したさまざまな活動を行っています。
フェロニッケルの原料となるニッケル鉱石をフィリピン、ニューカレドニアから輸入していますが、現地鉱山では、鉱石採掘後の跡地を可能な限り原状回復（リハビリテーション）させるために植林を行うことが義務付けられています。これまで、当社では、他鉱山への開示許可を取得した後、各鉱山に植林に関する情報提供を行う等の活動を実施してきました。2019年度は実績がありませんが、今後も必要に応じて情報提供を実施いたします。
また、鉱石などの固体ばら積み貨物の海上輸送については、国際的に統一された安全規制が行われています。当社はこのような国際規制に対しても積極的に準拠し、船舶における事故が起こらないよう安全対策、環境配慮を行っています。

■大平洋金属のサプライチェーン概要図

